

平成 26 年 6 月 10 日

各 位

主催者ご挨拶

平成 26 年度シンポジウム

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会
委員長 朝倉祝治

水道はライフラインとして極めて重要な地位をしめています。特に我が国の水道技術は世界的に見て非常に高いレベルにあることは周知の通りです。しかし、我が国の水道施設は建設されてから長い時間が経ち老朽化が進んでいることも事実です。このような問題を効率良く解決するには具体的な問題を把握すると同時に、最新の技術を知ることが大切です。このような現実を踏まえて、横浜国立大学大学院工学研究院では 4 年間にわたり「持続可能な水道システムの確立」をテーマとした公開講座を開催してまいりました。お陰様で関係各方面から多数の方々のご参加を頂きました。このような伝統を受け継ぎ、更に発展するために、装いも新たに公開講座からシンポジウムに名称を変えて実施することになりました。このことは横浜国立大学大学院工学研究院からも勸奨されています。そして、実施形態も、平成 26 年度シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」企画委員会と横浜国立大学工学研究院との共催になりました。

より自由で創造的な議論が期待できますので奮ってご参加下さいますようお願いいたします。また、関係各方面にご周知くださるようお願い申し上げます。

共催者ご挨拶

横浜国立大学大学院工学研究院長
河村 篤男

日頃より横浜国立大学大学院工学研究院にご理解を賜りありがとうございます。さて、従来から行われてきた公開講座「持続可能な水道システムの確立」を、本年度よりシンポジウムとして開催することになりました。社会人技術者のキャリアアップなどにお役立て頂ければ幸いです。皆様の一層のご発展をお祈りしております。

持続可能な水道システムの確立

～ 水道施設の長寿命化と技術開発 ～

主催 平成 26 年度シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」企画委員会
共催 横浜国立大学大学院工学研究院
後援 厚生労働省健康局水道課
(五十音順) 特別地方公共団体神奈川県内広域水道企業団、川崎市上下水道局、さいたま市水道局、
仙台市水道局、千葉県水道局、東京都水道局、横浜市水道局
公益財団法人水道技術研究センター、一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会、
公益社団法人日本水道協会、日本水道鋼管協会、一般社団法人日本水道工業団体連合会、
一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会
株式会社水道産業新聞社、株式会社日本水道新聞社

運営(受託) 株式会社ベンチャー・アカデミア(横浜国立大学発ベンチャー会社)

日時 平成 26 年 8 月 28 日(木)、29 日(金)
28 日(木) 10:00～16:45 / 17:15～19:00 技術交流会(自由参加)工学部第二食堂
29 日(金) 10:00～17:15

会場 横浜国立大学理工学部 C 講義棟 301 室

募集人数 100 名(先着順で受講者を決定し、定員になり次第締め切ります。)

受講料 2 日間で 12,960 円(受講料 12,000 円 + 消費税)交流会は当日会費として 1000 円をお支払い下さい。

申込期間 平成 26 年 6 月 30 日(月)～8 月 8 日(金)

講座内容 水道は重要なライフラインです。我が国の水道技術は極めて高く、国際的にも指導的な立場にあります。しかし水道施設の老朽化が進み、安心安全な給水を行うために問題があることも事実です。経済的な理由から安易に設備を更新することには限界があることもよく知られています。このような問題を解決するには、施設の長寿命化技術を開発することが強く求められます。
これまで横浜国立大学工学研究院では、4 年間にわたり公開講座「持続可能な水道システムの確立」を実施して参りました。今年度からは水道システムに山積する多くの課題についてより踏み込んだ議論を展開するために、装いも新たにシンポジウムとして開催することとなりました。水道施設の長寿命化の技術展開について問題点を抽出し、多様な側面からの情報提供を行い、それらに関する創造的な意見交換を行います。

* 講座運営方法の変更について *

本年度より横浜国立大学大学院工学研究院との共催事業として運営されることになりました。受講料の振り込みを含めて運営業務を民間会社が行います。

お 申 込 手 続 き に つ い て

【E-Mail によるお申込み】

別紙受講申込書に記載されている必要事項をご記入の上、symposium@v-academia.jp まで送信してください。

【ファックスによるお申込み】

下記 FAX 申込書に必要事項をご記入の上、045 - 718 - 5325 まで FAX 送信して下さい。

株式会社ベンチャー・アカデミア

(住所) 〒230 - 0045 横浜市鶴見区末広町 1-1-40 横浜市産学共同研究センター研究棟 204

(TEL/FAX) 045 - 718 - 5325

(E-mail) symposium@v-academia.jp

お申込時にご提示いただいた個人情報、本講座運営上の連絡・統計以外には使用いたしません。ただし、お申込時に希望された方に対しては、今後の本シンポジウム、横浜国立大学公開講座のご案内の際に利用させていただくことがあります。

平成 26 年度シンポジウム

【 持続可能な水道システムの確立 】

受 講 申 込 書

申込先：FAX 045-718-5325

送信日： 年 月 日

(フリガナ) 氏 名	()	男・女	年 齢 歳
勤務先名			
所 属			
勤務先所在地 (又は自宅住所)	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
連絡担当者 所属・氏名	ご本人以外のご場合はご記載下さい。		
当シンポジウムの 講義で詳しく 聞きたい内容	個別相談を希望する		
<p>【お振込について】</p> <ul style="list-style-type: none"> *平成 26 年 8 月 20 日(水)までに下記の口座にお振り込みください。 *お振込手数料はご負担下さい。 *領収書はお振込いただいた際のご利用控えに代えさせていただきます。 *もし領収書が入り用の際にはお申し出ください。 *お振込確認後、受講票を送付させていただきます。 <p>受講料振込予定日： 月 日頃送金予定 ()銀行</p> <p>振込先：三菱東京UFJ銀行 横浜駅前支店(普)2835353(株)ベンチャー・アカデミア</p> <p>請求書： 要 不要</p> <p>請求書送付先：</p>			
今後の本シンポジウム・大学公開講座の案内送付希望	・希望する(DM希望 / Email希望) ・ 不要		
交流会参加希望	・ 参望する ・ 参加希望しない		

【 シンポジウムプログラム 】

日時 / 場所		演題 / 講師
8月28日 (木) 横浜国立大学 理工学部C講義棟 301室	10:00 ~ 10:15	主催者挨拶 朝倉 祝治 横浜国立大学名誉教授
		共催者挨拶 河村 篤男 横浜国立大学大学院工学研究院長
	10:15 ~ 10:25	スケジュールの案内、および会場案内
	10:30 ~ 11:30	< 基調講演 > 限られた水資源の効率の活用と新技術 藤江 幸一 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授
	12:30 ~ 13:20	基幹施設更新を見据えた代替浄水場整備 佐藤 清和 東京都水道局総務部施設整備計画担当課長
	13:25 ~ 14:15	パイプラインの耐震化、長寿命化について 半田 周 一般社団法人ダクタイル鉄管協会 技術広報グループ長
	14:30 ~ 15:20	長沢浄水場の更新工事について 澤登 光彦 川崎市上下水道局 水道部水道計画課長
	15:25 ~ 16:45	< 招待講演 > 管路更新に応用できるリスク管理 関根 和喜 横浜国立大学安心 安全の科学研究教育センター 客員教授
	17:15 ~ 19:00	希望者による技術交流会*
8月29日 (金) 横浜国立大学 理工学部C講義棟 301室	10:00 ~ 10:10	第2日目案内
	10:10 ~ 11:00	横浜市の管路更新における腐食性土壌対策 小西 孝之 横浜市水道局給水部給水課給水係長
	11:05 ~ 11:55	次世代を見据えた水道管路情報システムの活用による維持管理 - 川崎市上下水道局との共同研究 後藤 紫 株式会社ジオプラン 取締役・システム開発部長
	13:00 ~ 13:50	< 招待講演 > 水道配水管内における濁質の挙動 長岡 裕 東京都市大学工学部都市工学科 教授
	13:55 ~ 14:45	長寿命化を中心とした管路の維持管理 伊藤 本之 仙台市水道局給水部南配水課南維持係長
	15:00 ~ 16:40	< パネルディスカッション・質疑応答 > ～ 水道施設の長寿命化と技術開発 ～ コーディネーター： 清塚 雅彦 横浜市水道局水道技術管理者 (給水部長)・横浜国立大学 非常勤講師 パネリスト： 小西 孝之 横浜市水道局給水部給水課給水係長 後藤 紫 株式会社ジオプラン 取締役・システム開発部長 長岡 裕 東京都市大学工学部都市工学科 教授 伊藤 本之 仙台市水道局給水部南配水課南維持係長 関根 和喜 横浜国立大学安心 安全の科学研究教育センター 客員教授
	16:45 ~ 17:15	修了証書授与 閉会挨拶

会場は工学部第二食堂です。会費 (一人1,000円) は当日会場でお支払い下さい。受講者以外の関係者も参加できます

YNU CAMPUS MAP 2014

キャンパスマップ

-  学食・カフェ・お弁当販売場所
-  学務係・教務係・大学院係
-  ハソコン教育室・サテライト教室
-  証明書自動発行機
-  模範通
-  駐車場
-  バス停留所
-  学内バス停留所



相鉄バス 浜10系統
「横浜国大経由横浜駅西口」「横浜新道」行き
下車バス停「国大西」

相鉄バス 浜11系統
「釜台住宅第1」「釜台経由上星川駅」行き
下車バス停「ひじりヶ丘」

シンポジウム会場
横浜国立大学理工学部 講義棟C棟 (S5-9)
入口は2階です。
3階：301室 講演会場
2階：休憩室、講師控室

【連絡先】

株式会社ベンチャー・アカデミア
TEL. 045-718-5325

〒230-0045
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産学共同研究センター研究棟204
E-mail : symposium@v-academia.jp
http://www.v-academia.jp

【当日の問い合わせ】

横浜国立大学理工学系大学院等総務係
TEL. 045-339-3804

〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
横浜駅西口からのバスのご利用をお勧めいたします。（横浜駅西口よりの主要時間約20分）

横浜駅西口バスターミナル 9番乗り場
相模鉄道バス 浜11系統「釜台住宅第1」「釜台経由上星川駅」行き 「ひじりが丘」バス停下車 徒歩8分
※比較的バスの本数が多いため、この系統のバスのご利用をお勧めします。

横浜駅西口バスターミナル 10番乗り場
相模鉄道バス 浜10系統「横浜国大経由横浜駅西口」「横浜新道」行き 「国大西」バス停下車 徒歩3分
※バスの行き先にご注意ください。また時間帯によってはバスの便がないことがあります。